

日中女性研究者の 更なる飛躍に向けて

2016年4月6日(水) 10:00 - 15:00 科学技術振興機構東京本部別館1Fホール

中国と日本の女性研究者は「男女共同参画社会」の実現を目的に、1992年以来4回にわたって「日中女性科学者シンポジウム」を開催し、日中両国の女性科学者の相互理解を深めるとともに、研究環境の向上に向けた提言を行ってきました。

このフレームワークを踏まえ、日中の若手研究者が議論や情報交換などを通じて、ネットワーク構築と日中女性研究者の長期にわたる共同研究の環境づくりを促進していきます。

プログラム

司会： 渡辺 美代子 科学技術振興機構 副理事

言語： 日本語・中国語（同時通訳あり）

10:00-10:10 開会挨拶 濱口 道成 科学技術振興機構 理事長

10:10-10:50 基調講演「女性研究者の成長促進に向けての環境づくり」
方 新 中国科学院大学公共政策・管理学院 院長、前中国科学院 副書記

10:50-11:30 基調講演「女性研究者よ、世界を舞台に活躍しよう」
黒田 玲子 東京理科大学研究推進機構総合研究院 教授

11:30-13:00 休憩

13:00-13:30 トピックス「二次元半導体における化学：挑戦と機会」
謝 毅 中国科学技術大学 教授、中国科学院 院士

13:30-14:00 トピックス「放射線が拓く植物の謎」
中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

14:00-14:30 トピックス「ナノ粒子の発見と応用」
閻 錫蘊 中国科学院生物物理研究所 教授、中国科学院 院士

14:30-15:00 トピックス「生体膜脂質研究の進展と医療応用」
室伏 きみ子 お茶の水女子大学 学長

15:00- 開会挨拶 有馬 朗人 科学技術振興機構中国総合研究交流センター センター長、元文部大臣

■主催： JST 国立研究開発法人 科学技術振興機構
日本女性科学者交流会 ※

※日本女性科学者交流会：有馬朗人、中西友子、相馬芳枝、黒田玲子、川合眞紀

■日時： 2016年4月6日(水) 10:00 - 15:00
※9:30開場・受付開始

■会場： 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
東京本部別館1階ホール
〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

■参加料： 無料

■お申込み/お問合わせ： JST 中国総合研究交流センター
Tel: 03-5214-7556 / E-mail: crcc@jst.go.jp
http://www.spc.jst.go.jp/event/info_2016406.html



登壇者プロフィール

方新 (Fang Xin)

中国科学院大学公共政策・管理学院 院長、
前中国科学院 副書記



1955年生まれ。清華大学博士取得。研究員、博士指導教官を経て、中国科学院副書記に就任。中国科学院共産党学校校長、第三世界婦人科学組織主席などを兼任。第三世界科学アカデミー院士。中国共産党代表大会第十六、十七、十八回の代表。第十、十一、十二回全国人民代表大会委員、ユネスコ委員会委員歴任。元中国科学院科学技術政策管理科学研究所所長、党書記。長期にわたり科学技術戦略および政策の研究に従事、国家イノベーションシステム構築および科学技術体制改革に深い知見を持つ。

黒田 玲子 (くろだれいこ)

東京理科大学研究推進機構総合研究院
(旧総合研究機構) 教授、
東京大学 名誉教授、
国連事務総長科学諮問委員会委員、
日本学術会議、スウェーデン王立科学アカデミー会員



仙台生まれ。お茶の水女子大学理学部卒業。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。1975年から86年まで英国ロンドン大学キングスカレッジおよび英国癌研究所にて研究・教育に従事。1986年から2012年まで東京大学教養学部助教授、大学院総合文化研究科教授を経て名誉教授に。2012年より東京理科大学研究推進機構総合研究院(旧総合研究機構)教授、現職。専攻は、化学、生物学、特にキラリティ(左右非対象性)の科学。主な受賞歴は、第1回日産科学賞、文部科学大臣表彰、ロレアル・ユネスコ女性科学賞、男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰など。2008年国際科学会議(ICSU)副会長、2009年スウェーデン王立科学アカデミー外国人会員に選出される。

中西 友子 (なかにし ともこ)

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授



1978年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)。その後、日本ゼオン(株)技術開発センター研究員、米国カリフォルニア大学バークレイ校ローレンスバークレイ研究所博士研究員などを経て1987年東京大学農学部助手。助教授を経て2001年東京大学大学院農学生命科学研究科教授。その後、日本原子力研究所グループリーダー、放射線医学総合研究所客員研究員、東京大学総長補佐、東京大学環境安全本部・本部長などを兼務。第20期日本学術会議会員。農学生命科学研究科・農学部の福島被災地調査研究の纏め役。

謝 毅 (Xie Yi)

中国科学技術大学 教授、
中国科学院 院士



1966年生まれ。1996年、中国科学技術大学にて博士号取得。1996年～1998年まで中国科学技術大学にて助教授在籍中、1997年～1998年までニューヨーク州立大学のポスドクを兼任。1998年に中国科学技術大学の教授に就任。「無機化学学報」、「中国科学技術大学学报」、「Inorganic Chemistry Frontiers」、「Materials Horizons」など、影響力のある学会誌の編集委員等を兼任。2013年から「Royal Society of Chemistry」のフェローに着任。

閻 錫蘊 (Yan Xiyun)

中国科学院生物物理研究所たんぱく質
及びペプチド重点実験室 教授、
中国科学院 院士、
中国生物物理学会 副理事長兼秘書長



1957年生まれ。1997年ハイデルベルク大学(ドイツ)にて医学博士号取得。1994年～1996年までアメリカSloan-Kettering癌研究所にてポスドクとして在籍。近年は、新種腫瘍の発見とモノクローナル抗体に着目した診断、治療法の開発に専念。2003年世界で初めてFe304ナノ粒子およびその抗体の効能を発見し、Nature Nanotechnologyにて論文を発表。その後、この発見を元に、癌診断に関する複数の研究成果を発表。現在、中国科学院・タンパク質およびペプチド医薬重点実験室教授、中国生物物理学会の副理事長兼秘書長。

室伏 きみ子 (むろふし きみこ)

国立大学法人 お茶の水女子大学 学長



1970年お茶の水女子大学理学部生物学科卒業。1972年同大学大学院理学研究科修士課程修了。1976年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了後、ニューヨーク市公衆衛生研究所研究員。医学博士。1983年お茶の水女子大学助手。講師、教授、理学部長、副学長を経て2015年4月より現職。その間、レイ・パスツール大学(仏、現・ストラスブール大学)客員教授、日本学術会議会員、(株)ブリヂストン社外取締役、政府関係の公職等を歴任。フランス共和国教育功労勲章受章。主な著書『ストレスの生物学 ストレス応答の分子メカニズムを探る』、『こぐま園のブッチャー』シリーズ、『図解生命科学』、『サイエンスカフェにようこそ! 科学と社会が出会う場所』シリーズ